学校番号	1008

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	アルゴリズムとプログラム	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	アルゴリズムとプログラム（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

アルゴリズムの基礎的な知識、技能を簡易なプログラミングを通じて体験的に学習します

2　学習の到達目標

・フローチャート作成、プログラム作成、評価、修正などのアルゴリズムに関する実践的な態度と技能を身につける

3　学習評価(評価規準と評価方法)

	観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
	観点の趣旨	・アルゴリズムに関心を持っているか。プログラムやプログラム言語に関心を持っているか。 ・アルゴリズムを図で表すことに関心を持って取り組んでいるか。	・プログラムの基本構成やプログラムの作成から実行までの流れについて表現できるか。 ・流れ図(フローチャート)とプログラムの関係を説明できるか。	・流れ図(フローチャート)の記号を用いて,アルゴリズムを表現することができるか。 ・プログラムの作成から実行までができるか。	・構造化定理と基本制御構造（順次構造,選択構造,繰り返し構造）について理解しているか。 ・数当てゲームのアルゴリズムやプログラムを理解しているか。
	評価方法	ワークシートの記述 向上意欲をもって取り組んでいるか	実技テスト 課題考査	課題を積極的に解こうとしているか 実技テスト 課題考査	ワークシートの記述 課題考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	アルゴリズムの基礎	・アルゴリズムの意味・意義を理解させる ・ワークシートにアルゴリズムの基礎的な知識を記述させる ・フローチャートの記述方法や簡単な課題を通じ　知識を定着させる	○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○ ○	a:アルゴリズムの基礎的知識に積極的に取り組んでいるか b:課題を解決できているか c:条件に合ったフローチャートが記述できるか d:ワークシートの問題が解けるか	授業観察 ワークシート 課題考査
2学期	プログラムの基礎	以下の内容を反復練習を通じて理解させる -Basic の記述方法 -データと変数 -演算子と条件分岐 -繰り返し処理 -配列	○	○	○	○	a:プログラムの基礎的知識に積極的に取り組んでいるか b:課題を積極的に解こうとしているか d:反復練習によりプログラムの内容を理解できているか c:課題の問題を解決できているか	授業観察 ワークシート 課題考査
3学期	プログラムの応用	・エクセルVBA 2 学期で学んだ知識を踏まえ実際にプログラミングに取り組む	○	○	○	○	a:エクセル VBA に対して積極的に解こうとしているか b:課題に対して積極的に取り組むことができるか c:プログラムを応用し、実際のプログラミングを行うことができるか d:課題の問題を解決できているか	授業観察 作品 相互評価 ワークシート 課題考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。